

会 議 録

会 議 の 名 称	令和3年度第5回(第25回)川島町子ども・子育て会議	
開 催 日 時	令和4年3月22日(火)午後1時30分～午後3時20分	
開 催 場 所	川島町コミュニティセンター2階 会議室①	
議 題	(1) 第2期川島町子ども・子育て支援事業計画 進捗管理について (2) その他	
公開・非公開の別	公開(傍聴人0名)	
出席者	委 員 (敬称略)	中谷 茂一、遠山 昌代、笛木 哲、柳澤 睦夫、鈴木 純子、 鹿山 洋子、石川 まり子、矢田堀 実香、箕輪 朝子
	その他関係者	なし
	事務局職員	子育て支援課 関 吉治、小林 覚、小島 知美、小島 秀夫、 大河原 綾乃
配 付 資 料	<p>【配付資料】</p> <p>資料1 令和3年度第5回川島町子ども・子育て会議 次第</p> <p>資料2 (1) 第2期川島町子ども・子育て支援事業計画 進捗管理について ①「教育・保育施設の充実」と「地域子ども・子育て支援事業の推進」について</p> <p>資料3 「教育・保育施設の充実」と「地域子ども・子育て支援事業の推進」について(参考資料)</p> <p>資料4 (1) 第2期川島町子ども・子育て支援事業計画 進捗管理について ②個別施策について</p> <p>資料5 事業実施調書</p>	
審議会等の内容・概要		
<p>1 開会 小林主幹</p> <p>2 あいさつ 中谷会長</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 第2期川島町子ども・子育て支援事業計画 進捗管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2期川島町子ども・子育て支援事業計画 進捗管理について、目標値と実績・現状を説明しました。 事業実施調書について、3月31日までに評価をしていただくよう委員にお願いいたしました。 <p>(2) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 本日の会議及び会議録は公開かつ会議録は要点筆記である旨を説明しました。 会議録の署名委員は3号委員の鹿山委員と5号委員の矢田堀委員に依頼しました。 <p>4 閉会</p>		
<p>ご意見まとめ</p> <p>(1) 第2期川島町子ども・子育て支援事業計画 進捗管理について</p> <p>①「教育・保育施設の充実」と「地域子ども・子育て支援事業の推進」について</p>		

- 【委員】各施策の評価と文章の表現の合致がされていないのではないのでしょうか。評価Bでも、文章だと『十分対応できている』という表現がされています。
- 【会長】以前も同様の質問が出ていたと思います。町独自の評価基準だと、需要を上回る提供体制を確保すればするほど評価は下がるものとなります。今後は、提供体制以外の要因も考慮して評価できるよう、検討をしたほうがよいと思います。
- 【事務局】評価の仕方を検討します。
- 【委員】『保育士の採用は厳しい状況にある』という文言が多く見受けられますが、保育士採用について、どのような対応をされていますか。
- 【事務局】保育士の処遇改善、人材派遣会社や広報を利用した募集を行っています。令和5年度については、正規職員を採用していくことを人事担当と調整済みであり、引き続き会計年度任用職員（フルタイム）の募集も行っています。
- 【委員】全国的に保育士の採用状況は厳しい状況にあります。大学や専門学校に協力してもらおう等、若い世代の保育士を採用し育てていくことに重点を置いて、募集していくべきだと思います。
- 【委員】資料2の4ページについて、同世帯で別の保育園に通園している事例はありますか。保育園や学童への送迎が負担になっているとの声を保護者から聞きます。
- 【事務局】令和4年度4月時点では事例はありません。兄弟で同じ保育園になるよう配慮を行っています。
- 【委員】資料2の5ページについて、0歳、1～2歳の量の見込みはまとめて算出したものですか。
- 【事務局】別々に算出しましたが、国へ0～2歳児の数値として報告しているため、まとめた数値となっています。
- 【委員】次期計画においては0歳、1～2歳を分けて表記したほうがよいと思います。
- 【委員】0歳児について、量の見込みと定員が同数となっていますが、定員数に余裕をもたせるような見通しができたのではないのでしょうか。
- 【事務局】0歳児は、子ども3人につき保育士1人という配置になります。ニーズの高まりは把握しているものの、保育士の人数が足りないことで配置が十分にできないことが背景にあります。
- 【委員】資料2の6ページについて、同一施設の表記が異なりますので、統一したほうがよいと思います。また、固有名詞に括弧をつけるのか、統一してください。
- 【事務局】表記について統一します。
- 【委員】資料2の9ページ上段の表について、事業を実施していないならば『0』と表記するのではなく、斜線等を使用し、評価なしと判断できるようにしたほうが良いと思います。
- 【事務局】対応します。
- 【委員】資料2の9ページ下段について、現在のサポーターの人数と、サポーターになるための条件等を教えてください。
- 【事務局】現在12名がサポーターとして登録しています。サポーターになるためには保育、看護、心肺蘇生等の内容について学ぶ、4日間のサポーター養成研修を受講する必要があります。令和3年度は町内1名、町外1名の計2名が参加し、研修終了後にサポーター登録を行いました。
- 【会長】法律改正等も頻繁にある分野のため、既に活動されているサポーターを対象

とした研修を定期的に設けたほうがよいかと思えます。

【委員】資料2の10ページについて、『預ける側が利用を控えている』ことが原因とありますが、そのような事例はありましたか。

【委員】とねがわ幼稚園では、利用をエッセンシャルワーカーの家族のみに限ることがありました。

【委員】資料2の13ページの表について、つばさ南学童クラブの定員数と2月末時点現状が同数となっていますが、預かり希望の児童を定員の都合でお断りするという事例はありましたか。

【事務局】確認しておりません。

【委員】実績の数値は登録者数ではなく1日あたりの利用者数であるため、実際の登録者数は定員以上となっています。国の規定では、利用者数が定員を上回らなければ対応可能な状況であるとして扱われます。そのため、実際に利用する人数としては対応ができている状況だと思います。

②個別施策について

【会長】資料5の事業実施調書の各課の評価について、委員に検討してほしいポイント等があれば教えてください。

【事務局】新型コロナウイルス感染症の影響で未実施となっている施策について、各課で評価が異なっています。実施内容に工夫がみられるかどうか注目して、評価・検討をお願いします。

署

名

鹿山洋子

矢田堀 実香